琉球新報 2012年5月24日(木)

夕食会で笑顔を見せる各国の高校生ら＝23日午後、宮古島市のホテルアトールエメラルド

高校生太平洋・島サミット開幕

環境討議、提言へ

【宮古島】南太平洋の14カ国1地域の高校生と日本の高校生計62人が集まって、環境問題について話し合う高校生太平洋・島サミット（県主催、宮古島市・外務省共催）が23日、宮古島市で始まった。26日まで。高校生たちは、25日に各国首脳に対して提言を発表する。各国首脳が意見交換する第6回太平洋・島サミットは25、26の両日、名護市で開催される。

14、15面に特集、26面に関連

宮古島市はエコアイランド宣言をし、低炭素、循環型社会を目指している。高校生らは、藻や微生物の働きによる生物浄水法を実施している袖山浄水場や、環境に配慮したイオンタウン宮古南ショッピングセンターを視察した。

浄水場を見たバヌアツ共和国のジャリカ・マラウさん(17)は「エネルギーをあまり使わない方法で、他の国にとっても良い。環境にも良いし、施設を整える資金があればバヌアツでも使えると思う」と話した。

夕食会では、互いの国の紹介を兼ねたクイズに挑戦したほか、東日本大震災の犠牲者追悼のために、ろうそくをともすキャンドルナイトで黙とうを全員でささげた。

宮古島市の砂川裕磨君(17)＝宮古高3年＝は「貴重な機会なので、いろんな国の文化や言語などの違いを体で感じたい」と話した。

2012年5月26日(土)

根間 優美さん(17)

太平洋・島サミット
高校生事務局で

ハイタイ

宮古島を英語で紹介

○…宮古島市で23日から開かれている高校生太平洋・島サミットを、高校生事務局委員長として、各委員と共に大会を支えている。

23日の開会式では、事務局を代表して、集まった各国の高校生や保護者の前で、堂々とした英語で宮古島を紹介をした。「これまで英語であんなに紹介したことはなかったけど、練習通りにできた」と笑顔を見せた。

海外との交流に興味があり、ホームステイでもオーストラリアの生徒を受け入れた。「いろいろと話せて良い経験になった」と笑顔を見せた。（宮古島）